

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和2年4月16日

事務事業名	地域DMO形成準備事業						事業区分	新規/継続 単独/補助		新規補助	事務事業No.	040303001032	
担当	025101												
政策体系	政策体系上の位置付け												
	総合計画の施策名	0403 観光の振興						所属課	ヤマザクラ課				
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						課長名					
	施策名	03 観光の振興						グループ	ヤマザクラグループ				
手段名	03 ③観光まちづくりの実践						担当者名						
財務会計上の位置付け							事業期間						
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計						
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業						
法令根拠	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入												

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>地方創生推進交付金対象事業「地域固有資源「ヤマザクラ」を核とした桜川市の稼ぐ力創造プロジェクト」の平成31年度事業計画に位置付けられた「地域DMO形成準備事業」を推進する。</p>	<p>桜川市地域DMO形成準備に係る業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光マーケティング 金融分野の専門家招聘 管理者等設置 施設設備等の準備 前年度事業の評価・検証

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
地域固有資源である「ヤマザクラ」を核に「真壁の町並み」や「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、桜川市の固有資源を有機的に結び付け、魅力発信や、来訪者・移住希望者の受入窓口となる桜川市地域DMO形成を目指す。	桜川市地域DMO形成準備検討会の開催回数(累計)	人	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
市民	桜川市の人口	人	0.00	39,692.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
「ヤマザクラ」の価値が向上することは、豊かな自然環境から産出される農産物や山々から産出される石材の価値向上に繋がり産業振興に繋がる。	桜川市地域DMO形成準備検討会の参加者数(累計)	人	0.00	85.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量		
投入量	事業費 内訳	国庫支出金	千円	0		50	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	52	0	0
		事業費計(A)	千円	0	102	0	0
		正規職員従事人数	人	0.00人	1.00人	0.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)		02年度事業費 予算(千円)		
	09 旅費	50			
	11 需用費	22			
	19 負担金補助及び交付金	30			
	合計	102			0

事務事業名	地域DMO形成準備事業	事務事業No.	40303001032	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 地方創生推進交付金対象事業として、平成29年度から平成31年度までの3年間の継続事業として開始された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 農家の安定収入の確保。農産加工品開発と商品化、販路拡大・流通の強化。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市の総合戦略に位置づけられており政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光事業においては、検証の結果、見直しが必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 宿泊施設等の少ない本市にとって、観光事業で地元の商店街や農家が潤うには微力である。地域資源の循環を目指すことが、有効な手段である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在の暮らしを持続させるためには、地域の魅力のブランド化に視点を置くことが重要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 地域商社設立準備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 現行の事務事業を廃止し、新規事業を開始する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地方創生推進交付金対象事業として推進する。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	地域DMO形成にあたり、先進地の実施状況を視察したり、庁内関係部署においても協議を重ねてきたが、課題も多く存在し、事業進捗が図れない状況であった。その結果、現行の事業においては、目的や有効性に大幅な見直しが必要であるため、「地域商社設立準備事業」として、切り替え推進していく事となった。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現時点での満足からの脱出と、自己アピール(地場産品)の強化に力を注ぎ、将来的には、観光振興による誘客促進や消費拡大向上へ繋げていけるようになることが期待できる。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	更なる有効性を図るため「地域商社設立準備事業」へ切り替える。 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認